

2025年10月9日

サーラエナジー株式会社

「サーラ東三河太陽光併設蓄電所」の運用開始について
(開所式開催のお知らせ)

当社（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：鈴木 敬太郎、以下）は、日本初^{※1}となる再生可能エネルギー併設型蓄電所として、建設を進めてまいりました「サーラ東三河太陽光併設蓄電所」の運用を開始する準備を進めております。この度、本格的な運用開始に先立ち、10月20日に開所式を執り行うこととなりましたのでお知らせします。

本蓄電所の建設は、当社が建設を進めている「サーラ浜松蓄電所（系統用蓄電池^{※2}事業）」に続く2カ所目の蓄電所建設プロジェクトであり、電力系統からの充電に加え、太陽光発電設備による発電電力も蓄電することが可能となります。また、需給調整市場を中心に供出し、電力の安定供給と新しい収益機会の創出を目指してまいります。

当社は、中長期の成長分野と位置づける電力事業において、再生可能エネルギーの導入を促進する蓄電池の普及・拡大が必要不可欠であると考えております。今後は、自社の再生可能エネルギー電源の開発や蓄電所の運用にとどまらず、サーラグループ各社との連携を通じて、お客さまのニーズが高まる蓄電池の設置や蓄電所の建設を推進してまいります。

※1 2024年10月4日時点 当社調べ FIT・FIP認定を取得せず運用する新設の再生可能エネルギー併設型蓄電所として日本初
※2 系統用蓄電池：蓄電池を電力系統に直接接続して充放電を行うもの。太陽光発電等の再生可能エネルギーが余った時には充電し、夜間など電力不足時に放電することで、再生可能エネルギーの出力変動に対する需給を調整し、電力の安定供給への貢献が可能です

サーラ東三河太陽光併設蓄電所の概要

名 称	サーラ東三河太陽光併設蓄電所 (SALA Higashimikawa Solar Power and Storage Station)
設 置 場 所	愛知県豊橋市新西浜町 2-10 (サーラ e パワー株式会社 東三河バイオマス発電所敷地内)
蓄 電 池 種 別	リチウムイオン電池 (ジンコソーラー)
出 力	1,999kW
太 陽 光 パ ネ ル 容 量	736kW (PCS 出力 666kW)
蓄 電 池 容 量	7,520kWh (直流換算)
開 所	2025 年 10 月 20 日



本件に関するお問い合わせ先：

サーラエナジー株式会社 総務グループ TEL: 0532-51-1220